

第5学年1組 国語科学習指導案

令和4年11月11日（金） 第5校時
 指導者 教諭 金子 愛子

- 1 単元名 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう
 教材名 「固有種が教えてくれること」「グラフや表を用いて書こう」

2 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。 <知識及び技能> (2) イ
 (2) 文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 <知識及び技能> (1) カ
 (3) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 <思考力、判断力、表現力等> B (1) エ
 (4) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 <思考力、判断力、表現力等> B (1) イ
 (5) 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 <思考力、判断力、表現力等> B (1) カ
 (6) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 <思考力、判断力、表現力等> C (1) ウ
 (7) 粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、読み取った筆者の工夫をいかして説明文を書こうとする。 <学びに向かう力、人間性等>

3 単元の目標達成のための中心となる言語事項

筆者の説明の工夫について考えをまとめて話し合ったり、図書やインターネットなどを利用して調べた資料（統計資料や写真）を根拠に説明文（総合的な学習の時間「進め豊野っ子米作り隊」のまとめ）を書いたりする。（関連：言語活動例ア）

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。 ((2)イ)	①「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	①粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、読み取った筆者の工夫を説明文にいかしている。
②文の中での語句の関わり	(B(1)エ)	

<p>方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (1)カ)</p>	<p>②「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)</p> <p>③「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ)</p> <p>④「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p>	
--	--	--

5 単元について

(1) 言語能力の系統性

4年 思いやりのデザイン／アップとルーズで伝える (※資料系統表参照)
 ・文章構成や段落どうしの関係を確認、筆者の考えを捉える。 ★10の指導事項④



4年 世界にほこる和紙 (※資料系統表参照)
 ・まとまりごとに中心となる語や文を確認、要約する。 ★10の指導事項⑤⑨



5年 見立てる (※資料系統表参照)
 言葉の意味が分かること
 ・事例・理由や論の展開に着目して、要旨を捉える。 ★10の指導事項⑥⑨

5年 みんなが過ごしやすい町へ
 ・引用したり、図表やグラフを用いたりして、調べたことを正確に伝える。



5年 固有種が教えてくれること／統計資料の読み方／グラフや表を用いて書こう (※資料系統表参照)
 ・文章以外の資料を用いた効果を考えながら読む。
 ・統計資料を読むときに注意することや確かめておくことを知る。
 ・目的に合った資料を選び、資料と文章を対応させて書く。 ★10の指導事項⑨⑩



6年 『鳥獣戯画』を読む (※資料系統表参照)
 ・筆者の考え方や資料や言葉の使い方の工夫を捉える。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、本単元に関する学習として4年生時の「世界にほこる和紙」「ウナギのなぞを追って」では、「はじめ」と「終わり」に結論を示す「双括型」で書かれた文章を読み、「中」の部分が事実や解説により構成されているという文章構成を学習してきた。また、「アップとルーズで伝える」では、事例を挙げ、それを踏まえて最後に結論を示すという文章構成を学習してきた。

5年生においては、「みんなが過ごしやすい町へ」で、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えながら、調べたことを正確に報告する文章を書いた。「見立てる」「言葉の意味が分かること」（複合単元）では、事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する学習を行ってきた

このように、児童は文章構成を意識しながら学習（読むこと）することに慣れつつある。しかし、「はじめ」「中」「終わり」の「中」においての事例の挙げ方を工夫することで、筆者の考えを効果的に表現する文章構成にしたり、双括型の文章構成で主張を強めたりする工夫を実際自分たちが取り入れて文章を書くという経験はほとんどない。

そこで、本単元の学習と総合的な学習の時間「進め、豊野っ子米作り隊」とを関連付けて学習計画を立て、国語で学んだ既習事項等を活用して、米作りについて調べたものをプレゼンテーション（報告）する言語活動の場面を設けることにより、児童が自分たちの考えを、自分たちの手で効果的に表現する経験をさせたい。

(3) 指導観

本単元のねらいは、図表と文章との対応を読み取ったり、それらの資料の効果を考えたりすることを通して、自分の表現にいかすことである。「必要な情報を見つける力」「文書の内容や構成を捉える力」を身に付けさせ、その力をいかして総合的な学習の時間「進め、豊野っ子米作り探検隊」で図表を用いたプレゼンテーションを行う。「読むこと」「書くこと」の学習を通し、国語科と総合的な学習の時間の関連を図りながら見通しをもって学習が進められるよう指導していく。

指導の過程としては、豊野小スタイルの「確認読み」「要点読み」「構造読み」を通して文章内容や構成を捉える学習を行い、「吟味読み」の段階で、双括型の文章であることを明確にし、多様なジャンルの知識を用いて展開されているこの文章も、一本の論理的な筋道で構成されていることに気づかせる。

「固有種が教えてくれること」の特徴は、地図、表、写真、グラフといった多様な資料を提示しながら筆者が主張を展開していることである。そこで、一つ一つの資料の意味や効果を考えさせる活動を取り入れ、資料があることによって説明の内容がより分かりやすく、説得力のあるものになっていくことを押さえない。

「書くこと」の学習では、「読むこと」での学びをいかして展開するわけであるが、ここでは資料の活用の他に、今まで系統的に学習してきた文章の効果的な書き方が提示してある国語コーナーを活用し、「進め、豊野っ子米作り探検隊」のテーマをプレ

ゼンテーションするにあり、どの工夫が適しているかを考えさせたい。この構成や下書きの段階においては友達との交流（対話）を積極的に取り入れ、伝えたいことと資料の選び方や提示の仕方、文章構成とが適切に結びついているかを話し合い、深めていきたい。

本単元のゴールは総合的な学習の時間で調べたテーマのプレゼンテーションとなるが、調べたものの報告だけで終わることなく、そこから生まれた自分の考えを強調するプレゼンテーションになるよう指導していきたい。

6 単元の指導計画・評価計画

時	主な学習活動	学習内容	評価の観点			具体の評価基準
			知	思	態	
1	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を活用した文章を読んだり書いたりする活動の見通しをもち、ゴールを確認する。 ○全文を読み、初発の感想を書く。 (確認読み) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通し ○資料の効果 (モデリングにより効果についてふれる。) 		④	①	<p>【態】 グラフや表を用いて書く活動の見通しをもち、進んで感想発表や話し合いに参加している。 (観察・発言・記述)</p> <p>【思】 文章と図表などの関係に注意して通読し初発の感想をもっている。 (発言・記述)</p>
グラフや表を用いて「進め、豊野っ子米作り隊」のプレゼンをしよう。						
2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> ○各段落のキーワードやキーセンテンスで要点をまとめる。(要点読み) 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心になる言葉や文 ・固有種 ・固有種の多さ ・固有種が生き続けられた理由 ・固有種の現状 ○要点のまとめ方 	②	④		<p>【知】 文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係を理解している。(発言・記述)</p> <p>【思】 文章と図表などを結びつけ、各段落の要点を読み取っている。 (発言・記述)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ○文章を「はじめ」「中」「終わり」のまとまりごとに分け、構成図に整理する。意味段落ごとに小見出しをつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○構成図の分け方 ○小見出し ○事実と主張 	①	④		<p>【知】 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。(発言・記述)</p> <p>【思】 文章の構成を押さえて文章の内容の大体を捉</p>

	(構造読み)					えている。 (発言・記述)
5	○構成図から論の進め方を理解する。 (吟味読み) ○筆者の考えを捉え要旨をまとめる。 (吟味読み)	○双括型 ○筆者の主張 ○要旨のまとめ方 ○筆者の主張と自分の考えの比較		④	①	【思】 文章と資料を結びつけたり、その効果を考えたりして、論の進め方を捉え、要旨をまとめている。(発言・記述) 【態】 粘り強く、文章と図表などを結びつけて読んで、説明の工夫や筆者の考えを理解し、自分の考えをもととしている。(発言・記述)
6	○文章と資料を結びつけ、その効果を考える。 ○統計資料の読み方を理解する。	○意見文における資料の効果 ・筆者の立場から ・読者の立場から ○単位や目もり ○調べた時期や対象		④		【思】 文章と資料を結びつけて内容を捉えるとともに、その意図や効果を考えている。(発言・記述)
7	○米作りのテーマについて自分の考えをもち、資料を探して、適切なグラフや表を選ぶ。	○統計資料からの情報の読み取り方 ・タイトル ・横軸、縦軸 ・変化			①	【思】 各自の米作りのテーマに応じて必要な情報を粘り強く見つけている。(観察・記述)
8	○資料からわかる事実とそこから伝えたいことを書き出し、文章構成を考える。	○資料からわかる事実、伝えたいことの書き方 ○文章の構成		①		【思】 資料を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(発言・記述)
9 ・ 10	○資料を用いて考えが伝わるように書き表し方を工夫し、下書きをまとめる。 ○下書きを推敲し、文章を完成させる。	○資料と文章を結びつけた構成 ○資料を用いた説得力のある文の作成のしかた ○推敲のしかた	①		②	【知】 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。(発言・記述) 【思】 筋道の通った文章になるように、文章全体の

						構成や展開を考えている。 (記述)
11	○資料を用いて書くときの観点を意識して読み合い、文章のよいところを見つける。	○資料を用いる観点 ・効果的 ・わかりやすさ ・事実と意見		③		【思】文章全体の構成や展開が明確になっているか等、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(発言・記述)
12 本 時	○わかりやすい内容にするため、調べた項目の順序や内容を吟味する。	○論の進め方 ○資料の使い方		②	①	【思】筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考えている。 (発言・記述) 【態】学習した論の進め方を参考にし、どうすればテーマについて分かりやすく説明できるか提案しようとしている。 (観察・記述)

※総合的な学習の時間 「進め、豊野っ子米作り隊」の詳細な指導計画は、別紙参照
 <いかそう：総合的な学習の時間 「進め、豊野っ子米作り隊」>

7 研究主題との関連

論理的思考力を高める国語科指導の追究
 ～実生活に生かせる読む・書く力の育成～

仮説1 系統表により、各単元において身に付けなくてはならない学力を明確化し、指導計画や指導方法を工夫することで、論理的思考力が養われ、自分の考えを表現することができるのではないか。

手立て1 本単元で学習した内容を、総合的な学習の時間「進め、豊野っ子米作り隊」に生かすため、学習の後半から「進め、豊野っ子米作り隊」における資料を扱う学習と関連させた学習計画を立てる。

手立て2 説明文を「豊野小スタイル」にそって読み進め、教材の内容や全体の文章構成、筆者の考えを捉えさせる。「豊野小スタイル」の読みのスタイルに合わせたワークシートを用意し、学習を容易に振り返られるようにすることによって自分の考えをもてるようにする。

手立て3 いつでも既習事項を振り返られるよう国語コーナー「わかりやすい文章の書

き方」を常設し、特にわかりやすいまたは説得力のある論の進め方を学習する場面において活用できるようにする。

仮説2 多様な対話形式を設定することで、児童が目的意識をもって、自分の考えを比較したり見直したりするようになり、自分の考えを広げ深める力が育つのではないか。

手立て1 意見を交流する時間を多くとり、友達のと自分の考えの共通点や相違点を探ったり、情報を共有化したりすることで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

手立て2 ペアでの話し合いからグループまたは全体での話し合い等、学習の目的や内容によって対話形式を変えたり、「比較する」話し合いと「考えを作り出す」話し合い等、話し合いの目的意識をもって、話し合いに臨むことにより、自分の考えを広げ、深める力を育てる。

手立て3 文章構成を検討する場面においては、加除・修正のしやすいタブレットや付箋を活用し、話し合いの活性化を図る。

8 本時の学習指導（12 / 12時）

（1）目標

- 米作りのテーマについて調べたものを、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 <思考力・判断力・表現力等> B（1）イ
- 学習した論の進め方を参考にし、どうすればテーマについてわかりやすく説明できるか提案しようとしている。 <学びに向かう力、人間性等>

（2）展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価 ★研究主題との関わり	時間
1 本時の課題を確認するとともに、話し合いのしかたを理解する。	○学習計画の確認 ○話し合いの進め方 「終わり」主張 ↓ 「中」の構成	★国語の既習事項を利用しながら文章構成を作り上げていく過程を見本として見せることにより、学習の見通しをもたせる。	10
「進め、豊野っ子米作り隊」のプレゼンの構成を考えよう。			

<p>2 プレゼンの文章構成を話し合う。 ※付箋を使用 (テーマごとのグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加須の米作り ・品種改良 ・機械化 ・稲作の歴史 ・田んぼの生き物 ・米料理 	<p>○論理的な文章にするポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成 ・事例の順序 ・事例の多様性 ・資料の活用 ・考えや主張 <p>○話し合いの方法</p>	<p>○話し合いをスムーズに進ませるため、前時までに各自が調べた内容を共通理解させておき、付箋に小見出しや文章の要点を段落ごとにまとめさせておく。</p> <p>★説明文をプレゼンの下書きとして利用させる。</p> <p>★国語コーナーの「わかりやすい文章の書き方」のポイントを参考にさせる。</p>	<p>15</p>
<p><期待される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「中」「終わり」をはっきりさせよう。 ・「はじめ」には、調べた動機を入れよう。 ・加須以外の地域の米作りとも比べてみよう。 ・事例はわかりやすいものから先に説明しよう。 ・根拠となる写真やグラフ、表等のデータを入れてわかりやすくしよう。 ・これからの米作りについて考えたことを「終わり」と「はじめ」に入れて、主張を強めよう。 		<p>評価場面1</p> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p><評価方法>観察・記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の既習事項を参考にして、よりわかりやすい文章構成を考え、話し合っている児童をBとする。 <p><「努力を要する」状況Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の提案は、どうしてわかりやすい文章構成につながるのか考えるよう助言する。 	
<p>3 話し合ったことを発表する。 ※モニターに映した映像を使用する。</p>	<p>○発表のしかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことは～ ・～を目的に ・～することにより 	<p>○構成が考えやすいように「初め」「中」「終わり」のワークシートを使用させる。</p> <p>○タブレットで撮影したものをモニターに映し、共有できるようにする。</p> <p>○1～2グループに発表させ全体で共有する。</p>	<p>10</p>

<p><期待される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力を出す目的で写真やグラフを入れた。 ・事例をたくさん挙げることにより、わかりやすくした。 ・比べることで、伝えたいことを強調させた。 		<p>評価場面2</p> <p>【態度①】</p> <p><評価方法>発表・記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語コーナーを使ってよりわかりやすい文章構成にするためのポイントが説明できる児童をBとする。 <p><「努力を要する」状況Cへの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この文章で一番伝えたいことは何かを確認させる。 	
<p>4 本時の学習内容をまとめる。</p>	<p>○論理的な文章にするポイント</p>	<p>★国語での学習は総合的な学習の時間でも生かせることに気づかせる。</p>	<p>5</p>
<p>構成を工夫して、効果的に伝えると、自分たちの考えが伝わりやすい。</p>			
<p>5 振り返りをする。</p>	<p>○振り返りのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成 ・事例の順序 ・事例の多様性 ・資料の活用 ・考えや主張 	<p>○友達と話し合うことによさについても書くよう助言する。</p>	<p>5</p>
<p><期待される児童の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの発表を聞いて、よいところを取り入れて、さらによいプレゼンにしたい。 ・事例の順序を変えることで、自分たちの考えをより伝えやすくなる。 		<p>○次時は本時の学習を基にして、説明文の下書きを完成させることを知らせる。</p>	

9 板書計画

「進め、豊野っ子米作り隊」のプレゼンの構成を考えよう。

終わり	中	はじめ				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">むすび</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">まとめ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米を食べよう</td> <td style="text-align: center;">健康的にもすぐれている</td> </tr> </table>	むすび	まとめ	米を食べよう	健康的にもすぐれている	<p>小麦のアレルギー</p> <p>アレルギーなし</p> <p>小麦の料理</p> <p>○米の料理の特ちょう</p> <p>小麦の栄養</p> <p>○米の栄養</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 10px auto; text-align: center;">栄養のグラフ</div>	<p>米を食べよう</p> <p>米を食べることが減っている</p>
むすび	まとめ					
米を食べよう	健康的にもすぐれている					

10 資料（文章構成図）

終わり	中 2			中 1					はじめ		
⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落
固有種がすむ日本の環境を残さなければならぬ	固有種の保護は生息環境とのバランスが重要	天然記念物として保護	人間の活動によって固有種が減ってきている	固有種が生きていくために・環境の保全	イギリスに固有種がないわけ	分断されることによって固有種は生まれる	日本の固有種の多いわけ	日本の固有種の多さ	固有種たちがすむ日本の環境を残したい	固有種とは	中心となる語

